

プロ野球ヤクルトファンの小学生男児が、当時主力の小川淳司選手(中大出)にサインをねだった。「オレより(人気者の)池山のほうがいいんじゃない?」

男の子はしばらく考えて、再度、色紙を差し出した。「小川選手でいいです」。苦笑いしながら小川選手は言った。「よく聞いて。“小川で”と“小川が”では、違う意味になるんだよ」

ハッとした男の子は頭を下げた。「気にするな、オレでいいんだな」。確認した小川選手は色紙にペンを走らせた。子供たちにサインを求められたとき、日ごろ、こうも言うそうだ。「テレビで見ているときは選手を呼び捨てでもいいが、面と向かったら○○さんと呼ぶようにしようね」。少年ファンは野球を通して、敬語の使い方、言葉の使い方を学ぶ。

小川前監督には苦い経験があった。習志野高3年生の秋。甲子園・選抜大会の優勝投手を獲得しようと各大学からスポーツ推薦入学の勧誘が相次いだ。中大からは野球部長らがやってきたという。小川投手は、熱心に入学を勧められるうちに気持ちが変わり、高校関係者や家族の意向も受け入れて志望校を替えた。そして中大に自ら返事をした。

「中大でいいです」。非礼を隣席の先生にたしなめられたのを機に勉強にもさらに身を入れた。中大時代は日米大学野球に出場、岡田(早大一元阪神監督)、原(東海大―巨人監督)両選手とともにクリーンアップを組んだ。

あれから幾星霜、小川さんは指導者になった。監督就任後は野球選手も社会人であるとの意識を若い選手に植え付けた。「野球選手から野球を取ったらゼロではいけません」。今季新設されたチーム編成責任者として、新しいステージに立つ。その目に止まった逸材はヤクルト版文武両道にたけた選手になるのだろう。

(編集長 久保田茂信)

Staff

◎取材協力

学事部	ボランティアステーション	キャリアセンター
各学部事務室	中央図書館	経理研究所
大学院事務室	国際センター	学友会
学生部	入学センター	学員会 ほか

◎写真提供&協力

中大スポーツ新聞部

◎写真提供&協力

AFP通信

◎学生記者

石崎春日子	澤田紫門	高崎莉世	代田知之
田中未来	小野理世	増田ゆり	猪瀬春奈
福田紗友里	西村卓真	野村睦	山田俊輔
佐伯綾香	谷藤美佳	山下蛍	魚住剛司
山口萌絵	高瀬杏菜	菅野誠一郎	今村直道
竹田響	中村亮士	大藤真里奈	(順不同)



おわび

『HAKUMON Chuo』2015早春号(No.240)P.2「卒業の日に一贈る言葉」において、下記のとおり誤植がございましたので、訂正してお詫び申し上げます。

総長・学長のローマ字氏名表記

× Shosazaburo SAKAI

○ Shozaburo SAKAI

Next Issue

『HAKUMON Chuo』2015 夏号 NO.242

7月1日発行予定

学生記者が
総力取材!! お楽しみに!



2015 春号 NO.241 2015年(平成27年)4月1日発行

発行 中央大学広報室
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

メールアドレス hc@tamajs.chuo-u.ac.jp

編集担当 『HAKUMON Chuo』 ☎042-674-2048